

「ハロー」 インフォメーション

電話のご契約者名義に 変更はございませんか？



NTT西日本では、電話のご契約者から電話の移転や利用休止などのお申し込みを受けた際には、ご契約者名義などを確認させていただいております。電話の権利の譲渡や相続、ご契約者のお名前に変更などがあった場合には、速やかに名義変更手続きをお願いいたします。詳しい手続き方法は、下記までお問い合わせください。

ご契約者名義の変更が必要な場合

① 電話の権利を譲渡するとき(譲渡)

➡ 電話の権利を第三者に譲り渡す場合。

② 電話の権利を相続するとき(承継)

➡ 相続や法人の合併などにともない、地位・事業を受け継ぐ場合。

③ お名前や会社名が変わったとき(改称)

➡ 婚姻などでお名前が変わった場合、法人などの名称や組織を変更した場合。

お問合わせ

局番なしの「116」

携帯電話・PHSからは  0800-2000116

受付時間：午前9時～午後5時

(土曜・日曜・祝日も受け付けています。なお、年末年始(12月29日～1月3日)は除きます)
※フリーアクセスはNTT西日本エリア(北陸・東海・関西・中国・四国・九州地区)以外からはご利用になれません。

※電話番号をお確かめのうえ、お間違えのないようお願いいたします。

ホームページから名義変更の様式のダウンロードが可能です。詳しくは、下記ホームページをご覧ください。

➡ <http://www.ntt-west.co.jp/denwa/mousikomi/name/gaiyou.html>

NTT西日本ホームページ

<http://www.ntt-west.co.jp>

携帯電話から



「ユニバーサルサービス料」について

NTT西日本では、110番や119番などの緊急通報、公衆電話、山間部や離島を含む地域における固定電話通信などのユニバーサルサービスを、いつでも、どこでも、誰もが利用可能な料金でお客さまにご利用いただけるように、通信網の維持・保守に取り組んでいます。このユニバーサルサービスを維持するために、2007年1月より各電話会社が「ユニバーサルサービス支援機関」*1を通じて費用を出し合う「ユニバーサルサービス基金制度」がスタートしました。

NTT西日本は従来から経営効率化に取り組み、人件費や経費の削減など、あらゆる費用を対象に大幅なコスト削減を実施しておりますが、ユニバーサルサービスを取り巻く環境は、

- ① 携帯電話の普及拡大および光IP電話やアプリケーションサービスなどの他事業者が提供するサービスとの競争の進展
- ② 従来、NTT西日本と接続事業者が応分に負担してきたコストの一部を基本料コストに付け替えるという制度変更*2

などがあり、ユニバーサルサービスの収支は2017年度で▲265億円の赤字となっております。

一方、ユニバーサルサービス基金制度により支援される額は、実際のサービス提供に要した費用を用いて算定するのではなく、長期増分費用モデル*3に基づく費用で算定しており、かつ、加入電話については、著しい高コストの地域*4に対象が限定されていることなどから、実際の赤字の一部となっています。

今般、ユニバーサルサービス支援機関が定める各電話会社の1電話番号当たりの負担額(番号単価)は、2019年1月からも現行と同額の月額2円となりました。これにともないまして、引き続きお客さまには1電話番号当たり月額2円(税抜)の「ユニバーサルサービス料」をご負担いただきます。

NTT西日本は、基金制度の下で、今後もユニバーサルサービスの維持につとめてまいります。皆さまのご理解とご協力のほど、よろしくごお願い申し上げます。

- *1 一般社団法人電気通信事業者協会が総務大臣より指定されています。
- *2 2005年度から交換機コストの一部を段階的に基本料コストに付け替えるものです(2009年度以降は全額付け替え)。なお、このコストのうち、き線点RT(メタルケーブルに収容する電話などの通信を加入者交換機まで光ファイバーで伝送するための多重化装置)から加入者交換機間の伝送路のコストの一部については、2008年度より基本料コストから段階的に交換機コストに戻すこととされています(2011年度以降は全額付け替え)。
- *3 通信網の費用を実際の費用発生額ではなく、現時点で利用可能な最も低廉で最も効率的な設備と技術で新たに構築した場合の費用額に基づいて計算する方式です。
- *4 全国の加入数の4.9%の地域とされています。

(1) 料金額

(1電話番号当たり月額)

ユニバーサルサービス料*5	2円[税抜]
---------------	--------

*5 ユニバーサルサービス料は、ユニバーサルサービス支援機関が定める番号単価と同額です。また、適用する電話番号は、加入電話サービスなどの契約者回線に係る電話番号および付加サービスに係る電話番号です。

(2) 実施時期 2019年1月1日(火)より

(3) その他

ユニバーサルサービス支援機関が定める番号単価については、一般社団法人電気通信事業者協会のホームページ(<http://www.tca.or.jp/universalservice/>)において公表されています。

固定電話回線数の現状

2000年度末	2018年6月末
6,178万回線	1,931万回線

競争の進展等により
▲4,247万回線

NTT西日本の経営効率化

2000年度	2017年度
2兆7,398億円	1兆2,654億円

コスト削減努力により
営業費用が約▲1兆4,700億円

ユニバーサルサービス収支の現状とユニバーサルサービス基金制度による支援額

NTT西日本では継続的なコスト削減に取り組んでおりますが、NTSコスト*1の負担方法の変更などにより、2017年度におけるユニバーサルサービス収支は▲265億円の赤字となっております。一方、支援額は、長期増分費用モデルに基づく費用を用いて算定しており、かつ、加入電話については、著しい高コストの地域に対象が限定されていることなどから、ユニバーサルサービス収支の赤字の一部である、28億円が支援されることとなります。

サービス名	2017年度			基金による支援額
	営業収益	営業費用	営業利益	
加入電話・基本料	1,937億円	2,187億円	▲250億円	10億円
第一種公衆電話(市内、離島通信)	3億円	17億円	▲14億円	18億円
緊急通報	—	1億円	▲1億円	0億円
合計	1,939億円	2,204億円	▲265億円	28億円

支援を受けても残りの赤字(▲236億円)はNTT西日本自身が負担

*記載の数値は億円未満を四捨五入した数値となっており、表記上の合計値と合わない場合があります。

支援対象の地域と費用の絞り込み

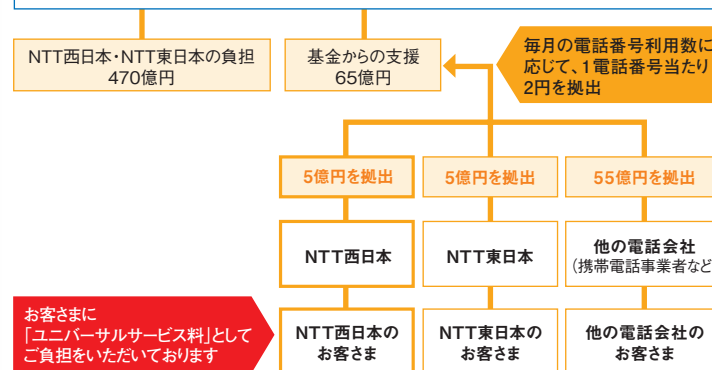
加入電話(基本料・緊急通報)の支援対象は、著しい高コストの地域に限られており、さらに加入電話・基本料の支援される費用の範囲は、著しい高コストの水準*2を上回る部分に限られています。

- *1 NTSコスト(Non-Traffic Sensitive Cost)とは、交換機設備のうち、通信量の増減によって変化しない装置のコストをさします。
- *2 平均コストに標準偏差の2倍を加えた額とされています。

ユニバーサルサービス料とユニバーサルサービスコストの負担について

ユニバーサルサービスの維持に必要な費用を賄うための各電話会社の1電話番号当たり負担額(番号単価)は、2019年1月からも現行と同額の月額2円となりました。これにとまなまして、引き続きお客さまには1電話番号当たり月額2円(税抜)の「ユニバーサルサービス料」をご負担いただきます。

NTT西日本・NTT東日本のユニバーサルサービスの赤字:▲535億円(うち、NTT西日本:▲265億円)



※事業者別の拠出額は、2018年6月末の電話番号利用数に基づく試算値です。

NTT西日本は、今後もユニバーサルサービスの維持のために、積極的な企業努力を続けてまいります。

NTT西日本ホームページ
「ユニバーサルサービスについて」

<http://www.ntt-west.co.jp/info/support/univ/>

「ユニバーサルサービス」に関するお問い合わせ

局番なしの「116」携帯電話・PHSからは **0800-2000116**

受付時間：午前9時～午後5時

(土曜・日曜・祝日も受け付けています。なお、年末年始(12月29日～1月3日)は除きます)

※フリーアクセスはNTT西日本エリア(北陸・東海・関西・中国・四国・九州地区)以外からはご利用になれません。

※電話番号をお確かめのうえ、お間違えないようお願いいたします。

ホームページから各種サービスのお申し込み・お手続きが可能です。詳しくは、下記ホームページをご覧ください。

<https://www.ntt-west.co.jp/order/>

料金に関するお問い合わせ 請求書、料金領収証・口座振替のご案内に記載の「お問い合わせ先」(無料)までお問い合わせください。
受付時間：午前9時～午後5時(土曜・日曜・祝日、年末年始(12月29日～1月3日)は除きます)

記載の内容は平成30年12月1日現在のものです。※本紙は森林保護のため、再生紙に印刷しております。